



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

# The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA

スポンサー 大阪クラブ DBC 近江八幡クラブ 広島クラブ

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

## 主題・スローガン

- 西宮クラブ会長 「楽しく充実した活動」 浅野純一
- Yサ・ユース 「次世代に向けてYウイズ・Y YMCA・Yユースが相互に、  
事業主査 Wウィン・Wウィン・Wウィンで立場持ち場を越えて支え合おう」 小野勅紘
- 六甲部部长 「YMCA とのさらなる協働を目指して」 井出 浩
- 西日本区理事 「未来に灯そう希望の光り」  
「互いに認め合おう 世界の友と」 深谷 聡
- アジア会長 「変革のための光となろう」  
「親睦を通して、輝き、力を得よう」 利根川恵子
- 国際会長 「輝かそう、あなたの光を」 ウルリック・ラウリドセン  
「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」

2023年  
11月  
907号  
(77期5号)



## 11月 西日本区強調活動 BF (Building Fellowship)

国際協会のメンバーであることを自覚し、献金目的の理解を深め、積極的に協力しましょう。

牧野 万里子 国際・交流事業主任 (京都ウエスト)

## 西宮ウイズメンズクラブ 11月第一例会

- 日時：11月17日(金) 19:00~20:30 ?  
場所：西宮 YMCA 3階教室  
ドライバ：石井恭子メン・馬場一郎メン
1. 開会点鐘・挨拶 会長 浅野 純一
  2. ウイズソング 一同
  3. 聖句朗読 西宮ランチ館長 間 勝也
  4. 食前感謝 馬場 一郎
  5. ゲスト紹介 会長 浅野 純一
  6. 会食 一同
  7. スピーチ 馬場 一郎  
「賀川豊彦から始まったこと」
  8. ウイズニュース
  9. YMCAニュース 間 勝也
  10. 閉会点鐘 会長 浅野 純一

## Happy Birthday / November

- 1日 清水 真由美メネット
- 10日 浅野 純一メン
- 18日 山本 容子メネット
- 23日 阪根 新メン
- 30日 山口 吉郎メン

## 今月の聖句

イエスは言われた。『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』

マタイによる福音書 22章 37節~39節  
森川俊介選

## 10月出席状況 (在籍会員数 21名)

第一例会 (28土)		第二例会 (13金)	
メン	10名	メン	12名
メネット	1名	メネット	0名
ゲスト	3名	ゲスト	0名
MU	4名	計	12名
合計	14名	出席率	66.7%

ファンド	10月	累計
ニコニコ	¥0	¥4,000
BF	¥0	¥8,300

会長 浅野 純一 直前会長 濱 浩一 副会長(次期会長) 濱崎 進一 副会長 足立 康幸  
書記 山口 吉郎, 小野 勅紘 会計 濱崎 進一, 重村 仁 監事 阪根 新, 丸山 悦治 担当主事 森川 俊介  
Yサユース事業主査 小野 勅紘 組織検討安全対策委員 山口 吉郎 次期六甲部長 小野 勅紘

# 会長メッセージ

会長 浅野 純一

先日10月28日(土)、西宮 YMCA カーニバルが4年ぶりに開催されました。コロナ以前よりはその規模は縮小され、ワイズメンズクラブの役割は駐輪場の整理とジュースの受け渡しとのことで、以前のような蚤の市



やカレーの販売はなく、私は正直にいて少し緊張感に欠けた気持ちで参加しました。朝9時に行きましたが、実行委員長の足立メンの開会の挨拶は8時30分であったとのことで、お聞きしなかったこと失礼しました。カーニバルに多くの保育園児と学童保育の子供たち及びその保護者の方に来場していただき、スタッフの皆さんのご努力下、ゲームコーナーやクイズなどで大いに盛り上がりました。私はジュースの手渡しを担当したのですが本当に忙しくうれしく思いました。

世界を見渡すと、またまた大きな戦争が起こりました。ウクライナでの戦争で悲しい思いをしているなか、先月7日ユダヤ教の安息日である土曜日の朝6時過ぎ、パレスチナ・ガザ地区を実効支配する武装組織ハマスがイスラエルに突然ロケット弾を撃ち込み、イスラエル側で1,400人が死亡、また遮断されたフェンスを破壊してイスラエル側に侵攻し人質をとって戦いを挑みました。ハマスのテロ行為に対してイスラエルは大規模な空爆で応酬し、ガザでは2500人以上が亡くなりました。とくに犠牲者の4割以上が子供です。さらに地上攻撃をも仕掛けようとしています。改めて戦争というものとは不可避で、平和の実現の困難さを見せつけられています。唐突ですが「平和は待っていても来てくれません。不断の努力で勝ち取っていかねばならないもの」と思います。

さて、秋が訪れました。この夏は長い猛暑が続いただけに最近の過ごしやすさは格別です。先日、正倉院展に行ってきました。帰りに奈良公園でみる十六夜の月は美しかったです。秋を象徴する風景は月と紅葉でしょうか。今年の秋、好天が続き

9月末の中秋の名月をはじめお月見を十分楽しんでます。ただ、この秋、関西地方の降水量は平年の30%だそうで、農作物への悪影響が心配です。また紅葉は水分が少ないと色づきがどうかです。まだまだ秋を楽しみたいと思っています。

## 10月例会 こどもカーニバル報告

濱崎 進一

日時：10月28日(土) 9:00~14:00

場所：西宮 YMCA

ドライバ：足立メン(カーニバル委員長)、濱崎メン  
4年ぶりに西宮 YMCA こどもカーニバルが協働で開催され10月例会となりました。今回のカーニバルは例年(従来)のカーニバルとプログラムを変更された企画で、第1部は9:30~11:00、第2部は11:30~13:00の2部構成で時間も短縮されて行われました。当日は天候に恵まれて子供たちの元気な声が会場をつつんでいました。



プログラムはクラフト・輪投げ等のゲーム、ジュース・ポップコーン・わたがし・クッキーの販売、お楽しみクイズなどが楽しくおこなわれ、ワイズは



ジュースの販売と駐輪場の誘導のお手伝いを担いました。天気が良かった為ジュース販売は多忙でした。

来場者数は国際協力募金のチケットを購入していただいた員数、第1部379名・第2部92名で保護者を加えれば500名以上の多くの方が来場されました。募金はチケット代とクッキー代合わせて12万円強（原価を引いていません）集まりました。

午後2時過ぎにはほぼ後片づけが終わり、纏めの会がもたれ足立カーニバル委員長の締めくくり言葉後解散となり、夢庵に場所を移し、懇親会をもちました。



例年のカーニバルには大学生ボランティアリーダーの存在がありましたが、コロナ禍規制以降リーダーが減少し、今回のカーニバルではリーダーが不在となり、一抹の寂しさを感じました。

カーニバルに参加（ご奉仕）されたメンバーは、浅野、足立、石井、小野、濱崎、廣瀬、藤原、万本、山口、山本の各メンと廣瀬メネットの11名でした。

## 西宮 YMCA こどもカーニバル実施報告

神戸 YMCA 主事 池田 英基

10月28日、「こどもカーニバル」として、YMCAの保育園に関わる園児やその卒園児、YMCAが運営を担う3つの育成センター、サポートクラスやまめの木の子どもたちを対象に行いました。3年ぶりの開催ということでこれまで以上に安全に配慮し、子どもたちと先生やリーダー、保護者方々が豊かな時間を過ごせるよう、内容と規模を設定しました。カーニバル再開においては、改めて地

域を考える、子どもたちをとりまく環境を考える、子どもたちと関わる大人を考える機会となりました。西宮Ysの皆さまのご協力にも感謝いたします。今後も地域の子どもたちの未来を考え、大切な仲間との交わりの場を守っていければと思います。



## 六甲部部会

山口 吉郎

9月30日（土）に神戸北野町の由緒ある神戸倶楽部にて六甲部部会が、EMC シンポジウムと部会の2部構成で開催されました。

シンポジウムには小野 EMC 委員長と万本委員が参加。グループに分かれて討議が行われ、小野書記の第二例会議事録によると、部毎にそれぞれ特徴や性格が異なるところに困難さがあり、部の特性に合った EMC が必要とのことでした。

続く部会はセレモニー・アトラクション・懇親会と順次行われ、浅野会長、山本メン、山口が追参加しました。内容は会食と音楽が中心。アピールタイムでは芦屋との合同クリスマス祝会のアピールを行いました。



## 寄稿(中国現代史 3)

浅野 純一

現代中国史について3回目を書かせていただきます。1976年に周恩来、次いで毛沢東が死去しました。その後、鄧小平が「四人組」ら文革派との激しい権力闘争に勝って権力を掌握しました。鄧小平は共産党副主席ですが、中央軍事委員会主席につき軍隊の最高地位につきました

た。国よりも共産党、党よりも軍が重要であり、軍権を把握した鄧小平が事実上の最高指導者です。鄧小平は改革開放政策を始めて(1978年)社会主義を放棄しました。しかし、自由主義を求める動きを脅威に感じて、(1)共産党一党の支配、(2)毛沢東思想の堅持の方針を示し、民主化運動家を弾圧しました。

政策では、かつて周恩来が示した「四つの現代化(農業・工業・国防・科学技術)」を唱え、その手段として市場経済化を進めます。農業では人民公社を解体、各戸の生産請負制度を導入して副業を認めました。工業では国営企業では経営者に自由裁量権を与え、農村では小規模な郷鎮(ごうちん)企業を奨励して小規模経営を奨励しました。また、外国資本の導入を図り、広東省の深圳(シンセン)や福建省の廈門(アモイ)など4か所を経済特区として指定し、外資企業を誘致して輸出向け企業を建設して技術移転や外貨の獲得を図ります。

鄧小平のもとで改革開放政策を推進したのは胡耀邦(1915~89)です。民衆が求めたのが「自由と民主」で、それは「五つ目の現代化」ともいわれます。1986年、民主化を求める学生デモが起こりますが、党総書記の胡耀邦は鎮圧せず、その責任を問われて党主席を追われました。鄧小平は胡耀邦を後継者に考えていたのですが「民主化」という点では対立していました。胡耀邦は失脚後、軟禁状態に置かれており、1989年4月に病死しました。実際は党の政治会議に出席して攻撃され憤死したといわれます。

胡耀邦は、風見鶏との批判があった周恩来とは比較にならないくらい民衆に人気がありました。同年5月、ソ連のゴルバチョフ大統領が訪中し、30年に及ぶ中ソ対立を終わらせました。ゴルバチョフは共産主義社会に自由をもたらしたとして中国民衆に歓迎されました。そのようななか、胡耀邦を追悼する集会が天安門広場で起こり、広場中央には「民主の女神」が登場しました。この動きを鄧小平は鎮圧することを決意し、民主化を求める民衆を、戦車を使って圧殺しました。死者は3,000人(ソ連筋)といわれます。6月3日夜から4日朝にかけての鎮圧の

様子はテレビのライブ中継で世界に伝えられ、世界中に大きな衝撃を与えました。第二次天安門事件ともいわれます。現在はこの事件を語ることは中国でタブーとされています。鎮圧がなかったら今日の中国の経済発展はなかったと中国政府指導者は考えているようです。(第一次天安門事件は1976年の周恩来に対する追悼から発生)。

事件の翌7月、パリで開催された「アルシュ・サミット」でも人権の抑圧が非難されました。外国資本による投資抑制や引き上げも起こり、改革開放は一時的に頓挫します。同年11月にはベルリンの壁が崩壊し、その後、東欧社会主義国とソ連が消滅しました。共産党にとって厳しい状況の中で、いかにして共産党独裁体制を守るのかというのが最大の課題でした。鄧小平の推挙で江沢民が党総書記及び国家主席になりました。

鄧小平は政府の第一線を退いたものの軍権を掌握して隠然とした力を示し、自らは家族を引き連れて上海や深圳などの南方を視察して、改革開放を促す発言を行います。これを『南巡講和』(1992.1~92.2)といい、さらに「社会主義市場経済」という前代未聞の体制を打ち出しました(1992.10)。国是は「愛国主義・民族主義」で中華民国が復活したかのようです。

天安門事件後の最も困難な時期に手を差し伸べたのは日本です。この過程のなかで、わが国は天皇訪中(1992.10)によって、先の天安門事件で失った中国の国際的な地位回復に協力します。これを契機に欧米の対中制裁が緩み、アメリカなどが経済制裁を緩和しました。また、1978年の日中平和友好条約締結から行われていた巨額の対中ODAは、引き続き実行されました。なお、対中ODAは2021年に最終的に終了するまで円借款・無償援助・技術援助併せて約3兆3000億円です。

鄧小平の健康の衰えに伴って江沢民が力を伸ばしました。1997年、鄧小平が亡くなると、鄧一族は江沢民の勢力によって潰されます。江沢民は党内の競争を生き残る手段に反日を掲げます。中国は内部矛盾が激しく外敵を作ってま

とめていかなければなりません。反米もありますが、それを掲げることは大変なエネルギーと危険性があります。反日は最もた易くできる標的です。中国は日本に対し、恩を仇で返したのです。

中国は2001年WTOに加盟し国際経済体制に組み込んできました。世界人口の5分の1の中国(当時)が参加することの影響力は世界経済に大きなインパクトをもたらしました。とくに日本はその煽りを受けました。

2003年、胡錦濤国家主席、温家宝首相体制が成立しました。国家主席の任期は5年で2期10年と憲法で定められています(1983年)。ただし、江沢民は軍権を手放しませんでした。胡錦濤政権の最大の課題は改革開放政策によって生まれた経済格差に伴う問題が生じていることです。とくに都市と農村部の格差はひどいものです。それに党幹部や官僚の汚職がはびこっています。汚職の発生は「中国の伝統文化」とさえ言われています。胡錦濤は江沢民の支配を終わらせ、江沢民は2004年秋、党中央軍事委員会主席を辞任し胡錦濤にその席を譲りました。

胡錦濤は反米、反日を抑えようとしますが、党内権力の基盤を強化するうえでも反日を捨てられずにいました。2004年7月の、サッカーアジアカップ中国大会で、反日運動は最高潮に達して、日本大使館、日本人経営のスーパーや商店が襲われるなどしました。

2013年、政権を担うことになったのは習近平(1953~)です。習近平は今(2023)年3月、党主席及び国家主席の任期制限を自ら撤廃して未踏の3期目に就き、毛沢東の再来を目指しています。彼はアメリカに対抗できる帝国建設をめざし、その最初として2014年のAPEC首脳会議で「一帯一路」の構想をぶち上げました。現在、それは行き詰っているのではないかとはいわれますが、さらに台湾を併合し太平洋を支配する海洋帝国の建設をめざしています。

最近のニュースで3月に就任した秦剛外交部長(外相)、李尚福国防省が相次いで解任されました。また、3月まで党指導部序列2位で改革に取り組み国民に人気のあった李克強前首相が10

月27日、突然心臓病で死去しました。8月には元気な姿を見せていました。このニュースを伝えるNHK国際放送が中国で遮断されたとのこと。習近平は3度目の天安門事件を恐れているのでしょうか。中国ではいったい何が起きているのでしょうか。

[参考資料]

放送大学テキスト『歴史からみる中国 第14回 国中国  
社会主義の展開』吉澤誠一郎氏(2013) p218

『真実の中国史』黄文雄 ビジネス社 p107

ウィキペディア「習近平」2023.10.26



ヴィオラ

## ワイズニュース [今後の予定]

- 11月4日(土) 西中国部会
- 11月12日(日) 茨木クラブ30周年記念例会
- 11月13日(月) 区役員研修会第2回模擬練習会
- 11月17日(金) 第一例会
- 11月23日(木祝) 神戸YMCA チャリティラン
- 11月24日(金) 第二例会
- 11月25日(土)-26日(日) 区次期役員研修会
- 12月15日(金) 第二例会
- 12月22日(金) 第一例会 クリスマス祝会  
ホテル竹園芦屋

### 編集後記

ブリテン委員 山口 吉郎

★呉での西中国部部会に参加の後、せっかくなのでとびしま海道からしまなみ海道へ寄り道。その為ブリテン発行が遅れましたことお詫びします★浅野会長による中国現代史、3回連載でリアルタイムに到達しました。探求心に脱帽です。ありがとうございます★六甲部会はほぼ写真のみの報告です。詳細は理事通信を★研修で東山荘に出張中の森川担当主事から素晴らしい富士山の写真が届きました★

